

四万十町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（令和6年度）【自己評価】

基本目標1 介護予防と健康・生きがいつくりの推進

A：概ね達成している、B：やや下回っている、C：大幅に下回っている

重点目標	個別施策	各事業	第9期末（R8年度）の目標数値	R6年度末目標	進捗状況		自己評価			備考（評価理由や達成できなかった要因、課題等）	委員評価
					R6.12月末		A	B	C		
(1) 介護予防・生活サービス支援サービス事業の充実	訪問型サービス			実施			○			適切なサービス提供ができています。	A
	通所型サービス			実施			○			適切なサービス提供ができています。	A
	介護予防ケアマネジメント			実施			○			適切なケアマネジメントができています。	A
(2) 一般介護予防事業の強化	介護予防普及啓発事業	高齢者運動教室	2教室/年	2教室/年	0教室/年			○		実施を希望する地区がなく、未実施。	C
		高齢者筋力向上トレーニング事業	3教室/年	3教室/年	1教室/年			○		参加者が少なく、予定どおり教室を実施できなかった。	B
		口腔機能向上教室	15教室/年	15教室/年	13教室/年			○		年度末までに達成できる見込みである。	A
		介護予防啓発教室	50か所、延400人/年	50か所、延400人/年	24か所、延203人/年			○		年度末までに概ね達成できる見込みである。	A
	地域介護予防活動支援事業	宅老所運営支援事業	新規立ち上げ1か所/年	新規立ち上げ1か所/年	新規立ち上げ0か所/年			○		希望がないため、新規立ち上げができていない。	C
		高齢者運動自主グループ活動支援事業	新規立ち上げ2か所/年	新規立ち上げ2か所/年	新規立ち上げ0か所/年			○		現在、2か所調整中である。	C
		シルバーリハビリ体操3級指導士の養成	登録者：70人、活動者数：登録者の30%（R8年度末）	修了者：10人、自主グループ開催回数：30回	修了者：3人、自主グループ開催回数：15回			○		登録者54人見込み。地域で活動している指導士は少ない。	C
	地域リハビリテーション活動支援事業	いきいき百歳体操等アドバイザー派遣事業	20回/年	20回/年	15回/年			○		年度末までに概ね達成できる見込みである（21回）。	A
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施			実施			○		計画的に実施できている。	A	
(3) 生活支援体制の整備	生活支援コーディネーターの活動の充実			実施			○		活動の充実に取り組んだ。	A	
	協議体の充実	第1層協議体 1回/年 第2層協議体 1回/月	第1層協議体 1回/年 第2層協議体 1回/月	第1層協議体 0回/年 第2層協議体 1回/月 ※8月は大雨で中止			○		定期的に住民や関係機関等が集まり、情報共有や意見交換ができています。新たな取り組みにつなげるまでには至らなかった。	A	
(4) 生きがいつくりの支援	老人クラブ活動の推進			実施			○		適切に補助金の交付等を行った。	A	
	高齢者の就業支援	シルバー人材センターへの活動支援等			実施		○		補助金の支援等を行った。	A	

基本目標2 地域で高齢者を支える仕組みづくり

個別施策	個別施策	各事業	第9期末の目標数値	R6年度末目標	進捗状況		自己評価			備考（評価理由や達成できなかった要因、課題等）	委員評価
					R6.12月末		A	B	C		
(1) あったかふれあいセンター事業の拡充	生活支援の拡充			実施				○		拡充には至っていないが、介護保険サービスで対応できない生活支援等は実施している。	B
	サテライト事業（サロン活動）			実施			○			各地区で実施している。	A
(2) 見守り体制の充実	地域支え合いネットワーク事業			実施			○			区長、民生委員、関係機関等と連携し実施している。	A
(3) 地域包括支援センターの機能強化	地域包括支援センターの円滑な運営	総合相談支援業務			実施			○		相談件数は増加傾向にあるが、適切に対応している。	A
		権利擁護業務（高齢者虐待防止対策の推進等）	専門職研修：1回以上/年 地域住民研修：1回/年 町広報誌掲載：1回/年	専門職研修：1回以上/年 地域住民研修：1回/年 町広報誌掲載：1回/年	専門職研修：0回 地域住民研修：年1回 町広報誌掲載：年1回			○		相談件数は増加傾向にあるが、適切に対応している。一般向け、専門職向けに年1回は啓発を行っている。達成見込み。	A
		包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	ケアマネジャー連絡会 5回以上/年 主任ケアマネジャー連絡会 4回/年	ケアマネジャー連絡会 5回以上/年 主任ケアマネジャー連絡会 4回/年	ケアマネジャー連絡会 2回 主任ケアマネジャー連絡会 3回			○		日常的なケアマネ支援やスキルアップのための研修を行っている。達成見込み。	A
		介護予防支援（指定介護予防支援事業所業務）		実施				○		要支援者に必要なサービスが提供できるよう実施している。	A
	重層的支援体制整備事業等による他分野との連携	障がい者福祉等他分野との連携			実施			○		他課や関係機関と連携し対応している。	A
(4) 認知症施策の総合的な推進	認知症の人や家族に対する支援	認知症初期集中支援推進事業			実施			○		サポート医、チーム員で適宜協議し、対応している。	A
		専門職研修	1回/年	専門職研修：1回/年	1回			○		認知症の方を介護する家族の支援をテーマに研修を実施した。	A
	認知症カフェ	窪川3か所、大正1か所、十和1か所（R8年度末）	認知症カフェ連絡会：1回/年	1回			○		5事業所に委託し実施している。	A	
	認知症の人を地域で支える取組の推進	認知症サポーター養成講座、認知症キャラバン・メイトの活動支援	認知症サポーター養成、認知症出前講座 参加者数：100人/年 チームレンジ設置	認知症サポーター養成、認知症出前講座参加者数：100人/年	サポーター養成講座：35人 出前講座：31人 計66人			○		希望する団体へ出向いて、社協と共に実施した。	B
	認知症の知識の普及啓発および相談窓口の周知			実施			○		認知症ケアパス簡易版の全戸配布を実施した。	A	
(5) 地域ケア会議の充実	地域ケア個別会議		個別会議 6回/年	個別会議 5回/年	3回			○		2年間で全ケアマネの事例の検討を行うことができるよう、実施している。	A
	地域ケア推進会議		推進会議 窪川・西部 各3回/年	窪川・西部 3回/年	窪川 2回 西部 2回			○		各地域の地域課題について協議している。達成見込み。	A
	地域の医療・介護の資源の把握			実施			○		社会資源集を作成し、医療・介護関係者に配布している。	A	

重点目標	個別施策	各事業	第9期末（R8年度）の目標数値	R6年度末目標	進捗状況		自己評価			備考（評価理由や達成できなかった要因、課題等）	委員評価	
					R6.12月末	A	B	C				
(6) 在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の課題の抽出		大正・十和地域包括医療・ケア推進会議事務局会 3回/年 地域包括支援センター運営協議会 1回/年	大正・十和診療所と協議:3回 大正・十和地域の地域包括ケアシステムについて課題の抽出を行う。	国保診療所との協議 2回			○		国保診療所との協議を2回実施。現状の確認は行っているが、課題の抽出には至っていない。	A	
	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進			未実施				○		4つの場面における課題の再検討はできていない。	C	
	在宅医療・介護連携に関する相談支援				実施			○		主任ケアマネジャーが適宜行っている。	A	
	地域住民への普及啓発			15か所/年	15か所/年	16か所			○		地域住民に「人生会議」について啓発を実施。	A
	医療・介護関係者の情報共有の支援				実施				○		入退院調整ルールを継続。ICTを活用した医療・介護関係者の情報共有は再検討が必要。	B
	医療・介護関係者の研修			2回/年	2回/年	2回/年			○		栄養、人生会議をテーマに研修を実施した。	A
(7) 在宅福祉サービスの充実	配食サービス事業			実施				○		利用車や食数が増加傾向であり、今後も拡充に向け取り組んでいく。	A	
	医療機関等外出支援サービス事業			実施				○		随時対応している。	A	
	福祉タクシー・バス利用券交付事業			実施				○		予定どおり交付しているが、今後は利用者率の向上を目指す。	A	
	在宅介護手当			実施				○		適切に支給している。	A	
	高齢者補聴器購入補助事業				実施				○		随時対応しており、今後は制度継続についての検討を行う。	A
	高齢者助け合いサービス事業				実施				○		十和地域を中心に実施している。今後は提供地域の拡充について検討していく。	A
(8) 高齢者の住まいの確保	多様な住まいの確保			実施				○		ニーズに合わせて、住まいの情報提供等を行っている。	A	
	養護老人ホーム入所措置			実施				○		随時対応している。	A	
	住宅等改造支援事業			実施				○		相談に応じて対応している。	A	

### 基本目標3 介護保険事業の適正・円滑な運営

個別施策	個別施策	各事業	第9期末の目標数値	R6年度末目標	進捗状況		自己評価			備考（評価理由や達成できなかった要因、課題等）	委員評価
					R6.12月末	A	B	C			
(1) サービス別事業量の見込				実施				○		見込額についてのモニタリングを行った（資料3参照）。	A
(2) 保険料の算定											
(3) 給付適正化の推進	要介護認定の適正化			実施				○		調査員が、必要な研修を受講した。	A
	ケアプラン等の点検	ケアプランの点検	町内居宅介護支援事業所の 全ケアマネジャー 1件/年	町内居宅介護支援事業所の 全ケアマネジャー 1件/年	15件			○		対象者全員のプラン点検を行った。	A
		住宅改修の点検、福祉用具購入・貸与（例外給付）調査			実施				○		利用者の状況に即した給付となるよう確認を行っている。
	医療情報との突合・縦覧点検			実施				○		適切な方法で突合・点検できている。	A
(4) 介護保険サービス事業所への支援	介護保険サービス事業所への指定・指導監督・助言			実施				○		随時対応している。	A
	介護保険サービス事業所の災害・感染症対策にかかる体制整備			実施				○		随時対応している。ICTを活用したネットワークについて、継続して検討していく。	A
	高齢者虐待防止等に関する指導			実施				○		通報等があればその都度対応している。	A
	介護人材の確保・育成			実施				○		介護職員向けの研修を行った。	A
	介護保険制度に関する情報共有			実施				○		パンフレットの活用やHPでの周知を行っている。	A
	各種相談・苦情等への対応			実施				○		随時対応している。	A
介護分野の文書負担軽減				実施				○		電子申請システムへの移行を進めている。	B
(5) 中山間地域介護サービス確保対策事業の継続	中山間地域介護サービス確保対策事業			実施				○		8事業者に対して支援した。	A